

### 子育て特集

1人の女性が一生の間に生む平均の子どもの数を表す県の合計特殊出生率が1.18人と過去最低を記録しました。全国でも40位と少子化傾向が顕著です。子どもを生み育てやすい社会づくりが求められています。市では安心して子育てができる街に向けて、乳幼児医療費助成の改正を行いました。これまで3歳未満までだった対象を就学前までに拡大。さらに本年度から、私立幼稚園児の保護者への幼稚園児補助金を増額するなどさまざまな整備を進めています。



6月24日、「流山プレーパークはらっぱ」で行われた草木染め。自然に囲まれて、雑草で絞り模様を染めて楽しむ家族連れ

# 子育て応援します

## 乳幼児の医療費助成を拡大

### 就学前児までに充実

#### 8月から1日入院も対象へ

市では、乳幼児医療費助成制度を改正し、8月から乳幼児医療費の助成内容を拡大します。現在の制度では、「3歳未満まで」となっている助成対象を、8月1日以降の診療分から

は通院(調剤も含む)の助成対象が「就学前まで」に拡大します。また、入院の場合、3歳から就学前児については、「継続して7日以上」のみの助成対象としていますが、8月1日以降は「1日以上」に拡充します。

これは、保護者の経済的負担の軽減を図り、子育て支援体制をさらに充実させるため改正したものです。8月からは、小学校就学前までのすべての乳幼児について、入院・通院を問わず助成が受けられるようになります。

### 乳幼児医療費助成制度新旧対照表 (平成18年8月1日診療～)

	旧制度		新制度
対象年齢	3歳未満	3歳から 小学校就学前児	小学校就学前児
区分	通院・入院	入院 (継続して7日以上)	通院・入院
自己負担	通院 1回200円 入院 1日200円	通院 全額自己負担 入院 1日200円 (継続して7日以上)	通院 1回200円 入院 1日200円
	調剤 自己負担なし *市民税所得割が課税されていない世帯は自己負担なし	調剤 全額自己負担	調剤 自己負担なし *同左

医療費の助成

を受けるためには、事前に市に申請手続きを行い「乳幼児医療費助成受給券」の交付を受ける必要があります。

現在、受給券を持っている方には、7月末日までに、8月1日から使用する新しい受給券をお送りします。なお、現在お持ちの受給券は、有効期間が平成18年7月末日までとなっています。こうした古い受給券は使用できませんので、子育て支援課、保健センター、市民課各出張所までご返却ください。  
子育て支援課 ☎71501500-6082

### 病後児保育の利用を

#### 市内全域を対象に2園で実施

市では、病後児保育を行っています。この制度は、病気がなったお子さんが急性期を過ぎ「回復期」に入ったものの、集団の中で一緒に遊んだりするのは無理だと感じても、保護者は仕事に行かなければならないという場合に、子育てと就労の両立を支援しようと、保育園では県

内初の試みとして流山市が始めたものです。病後児保育室で専門の看護師のケアを受けながらゆったり過ごし、無理なく体力が取り戻せるよう、子どもの身になって保育を行います。現在開設されている保育場所は、平成16年度開園の流山わらしこ保育園と、平成17年度開園の南流山聖華保育園の2園。利用できるお子さんは、市内に在住または在園している生後57日目から就学前までのお子さんで、事前に登録が必要です。



南流山聖華保育園の病後児保育室

園保育課 ☎71506124

# に充実 アップ

# 急な残業でも大丈夫 8月から助け合いシステムを拡充へ



子育ての悩みや不安を気軽に話せる場の提供に力を入れています

みんなで支える子育て

## やさしく呼び掛け、明るく声掛け

江戸川大学総合福祉専門学校  
児童福祉学科主任 大城 和夫 さん

流山市の子育て世代への応援体制は充実していますね。子育て中の方々を市内に引き止める力も、他市から呼び込む力もあるのに広報活動に戦略的な力点が置かれていないため、よく知られていないのは残念です。

たとえば、流山市の保育所の4分の1は、生後43日目から預かってくれますが、近隣では57日目からです。寝ない、ぐずつく、食べない……ちよつとしたことで不安になるのが子育てです。流山市では、家庭児童相談室や子育てサロンなど育児中の不安や悩み・疑問、愚痴などを話せる場所がたくさんあります。

乳幼児医療費助成も



大城和夫さん

就学前児までになりま

また、お母さんがハ

行政では、こうした

市内には、各地域に

7館の児童館・センタ

### みんなで支える子育て

の安井志津代さんと土

井佳子さんを講師に行

「食」がテーマ。かつ

代には、祖父母が食べ

育児中は生演奏を  
楽しむのは無理！  
そんな子育て中のご  
家族のために、公民  
館では「子育てサロ  
ンコンサート」を開  
催します。

今回は、53人もの  
オカリナ奏者による

### 子育てサロンコンサート 乳幼児連れで生演奏を

15日、文化会館で



スイング80ジャズ・オーケストラの皆さん

不要で、隣で子ども  
が歌っても踊っても、  
客も奏者もお互いに  
気にしない楽しいコ  
ンサートです。

▽日時 7月15日  
(土) 13時30分～15時  
(13時開場) ▽場所  
文化会館ホール  
文化会館 71  
58-3462

### 子どもたちの交流の場 児童センター等の利用を

1があります。  
これらの施設は、子

### みんなで支える子育て

お子さんの離乳食づく

りなどをしていらっしゃる

さんたちは熱心に聞き

入っていました。

### みんなで支える子育て

この講座は、夏から

秋にかけて東部、初石

北部の各公民館や南流

んか。

### みんなで支える子育て

▽利用時間 9時～

12時、13時～16時50分

(学童は10時) ▽休

日

# 子育て特集 サポート体制さら

## あなたの子育てをバック



5月30日、文化会館で行われた子育てサロンスペシャル

### 流山に緊急サポートネットワーク

NPO法人流山ユニ・アイネットでは、厚生労働省委託事業として8月から「ちは緊急サポートネットワーク」を始めます。

ちは緊急サポートネットワークは、子育てのお手伝いをする方（提供会員）と、緊急時に子育ての援助を受ける方（利用会員）が、事前に会員登録し、利用会員が応援を必要とするとき、提供会員が育児を行うというものです。「急な残業で保育所に迎えに行けない」「一泊の出張がはいつた」「保育園で子ども

が発熱したが、仕事で迎えに行けない」というような働くお父さん、お母さんのための助け合いのシステムです。

利用には、事前に利用会員登録（無料）が必要ですが、こうした趣旨から対象は、共働きの方、働くひとり親の方で、お子さんが1歳から小学校6年生までの方です。一方、子育てのお手伝いをする提供会員になるためには、3日間の研修が必要です。研修会を次のとおり開催します。

▽期日 7月21日（金）26日（水）、8月1日（火）

間 10時30分～16時▽場所 2ヶアセンター  
 ネットワーク流山事務局 7156-176  
 6 ちは緊急サポート

### 産じよくヘルプサービス

出産がもうすぐ、または、出産したばかりで、産後のことが心配という方は少なくありません。

実家が遠い、家族の帰宅が遅いなどの理由で、産前・産後の相談をする身近な人がなかなか見つからない—そんな方々のために産じよくヘルプサービスがあります。

市内には、産じよく期（分娩期から母体が妊娠前の状態に回復するまでの期間）の方を対象に、家事などを手伝う人を派遣する事業者がいます。利用を希望する方は、子育て支援課、保健センター、市民課各出張所に置かれた「子育てガイドブック」を参考に、事業者へ直接お申し込みください。

子育て支援課 ☎ 7150-6082 / 保健センター ☎ 7154-0331

### みんなので支える子育て

#### 井崎市長からのメッセージ



市では、子育ての悩みや不安を気軽に周囲に話せる機会を提供したいとNPOや子育てボランティア、教育委員会、福祉協議会などと連携しさまざまな事業を展開しています。

### 食卓から考えよう 盛んな食育講座

秋まで各公民館などで



6月5日、公民館の「子育てママのセミナーあかちゃんといっしょ」が、文化会館で行われました。写真。食生活アドバイザー

### 統合保育の利用を

保護者の就労にかかわらず

市では、障害をお持ちのお子さんや健常児と一緒に生活することを基本に中野久木保育所で統合保育を行っています。

これは、障害をお持ちのお子さんの場合、集団で生活することに よって能力の発達を期待されることなどから、平成16年度より保護者の就労状況に関係なく導入したものです。なお、入所申し込みの際には療育相談を受けていただきます。気軽にご相談を。

園保育課 ☎ 7150-6124

### 子どもは流山の未来 子や孫にやさしい街を

ことし8月からは、乳幼児医療費の助成対象を、これまでの「3歳未満まで」から、「就学前まで」に拡大します。また、私立幼稚園の園児補助金を本年度

から4・5歳児の場合、従来の1万7000円から2万円に増額しました。

一方、昨年度に、痛ましい事件から子どもたちを守るための安心

ため、大人になって抵抗なく何でも食べられました。それが、外食や加工食品では、嫌いなものは食べず、好きなものばかり選ぶため生活習慣病を改善できない場合が多いという講師の話に、且ころ、

山センターでも開催されます。また、今月21日には、保健センターで親子クッキングが行われるなど市では、さまざまな場で「食育」に力を入れています。

園文化会館 ☎ 7158-3462

メールをスタートさせ、現在、約7000人の登録者がいらつしゃいます。学校ごとの見守りボランティアをはじめ自治会の自主防犯パトロール隊や市民安全

成16年度までに終え、平成23年度までにすべての耐震工事を終了させる予定です。

文化会館では、昨年、NHKの人気番組「おあさんといっしょ」を招致し、ことは浦安からキャンプネポスを招きました。図書館では、子どもの読書推進の会が活動を開始し、博物館では毎月、子ども教室が行われ、市内7館の児童センター等では毎日さまざまな事業が展開されています。

待機児童ゼロの保育体制を実現するために保育園を新設し、流山お

おたかの森駅前保育ステーションの開設を計画。また全小学校区へ学童保育所の整備も進めています。

企業誘致係やマーケティング課による「子育てしながら働ける企業の誘致」など、市はいま、全庁をあげて子育て環境の充実に取り組んでいます。

子どもは流山の、そして日本の未来を支える力です。お子さんやお孫さんを育てやすい環境づくりを、市民の皆さまと力を合わせて前進させてまいりたいと思います。

### 妊婦さんに思いやりを

妊娠中、特に初期は、赤ちゃんの成長はもちろんお母さんの健康を維持するためにとっても大切な時期です。



しかし、外見からは、妊婦であるかどうか判断しにくかったり、つらい症状がある場合もあります。街や職場などで妊婦さんを見かけたら皆さんの思いやりある気遣いを。

子育て支援課 ☎ 7150-6082

- 館日 日曜、祝日、年末年始、第1土曜、第3月曜（その他振り替え休館など必要が生じたとき）▽対象 市内の児童（幼児は保護者同伴）、ボランティア活動の方▽使用料 無料
- ▽連絡先 駒木台児童館 ☎ 7154-482
- 1 江戸川台児童センター ☎ 7154-30
- 2 6 思井児童センター ☎ 7159-566
- 6 向小金児童センター ☎ 7173-932
- 0 十太夫児童センター ☎ 7154-525
- 4 野々下児童センター ☎ 7145-950
- 0 赤城児童センター ☎ 7158-4545

子育て特集

関東唯一の林野庁モデル学校林  
ぼくらの教室は森の中

炭焼きなども体験  
地域の方々と一緒に整備

「貝がいっぱい出てきたのは、海が近かったからかな」「カブトムシの幼虫がいたよ」



東小の北西、3ヘクタールの学校林には池や広場も整備

東小学校では、校庭に隣接する雑木林を「東かがやきの森」として活用し、昆虫観察や水質検査、炭焼きなどを行っています。

から1・75ヘクタールの森を借用しスタートした大きな構想です。林野庁の「住宅地における学校林事業」として全国で6校、関東では東小が唯一モデル校に選ばれました。この事業は、都市部の雑木林を保存活用しようと昨年度から新たに始めたもので、流山はその

第1号です。ことしは、さらに隣接する林1・25ヘクタールをお借りして、今月30日から地域の方々にご協力いただいで整備を進めていきます。学校の中で自然に親しんでもらおうと、平成16年度に2校、昨年度は4校にそれぞれビオトープをつくりまし

た。今年度も、東小をはじめ八木南小や八木北小、常盤松中の4校で、児童・生徒やPTA、地域の皆さん、NPO、大学などが協働してビオトープをつくる計画が進められています。子どもたちは、身近な水辺や森で、自然や生命の大切さなどを学びます。

第54回市小・中学校陸上競技大会が、5月30日、県立柏の葉総合競技場で開かれ、子どもたちは日ごろの練習の成果を競いました。写真。開会式では、井崎市長が「自己ベストを目指してがんばってください」と選手たちに声を掛け、江戸川台小学校の馬場雄希さんが、元気に選手宣誓を行いました。



木北②流山③東深井▽女子総合①長崎②南流山③八木北▽最優秀選手▽櫻井拓人(東)、新井梨乃(南流山)

働く喜びと尊さ学ぶ  
市内全域を文科省が指定

職場体験学習

市では今年度、文科省の指定を受け、「キャリア教育実践プロジェクト」を展開しています。

これまでも市内の中学校では、地域の方々にご理解をいただき、それぞれに1日から3日程度の職場体験学習を行ってきました。

市では今年度、文科省の指定を受け、キャリア教育実践プロジェクトは、市内8中学校で5日間にわたる職場体験学習を行うもので、二トやフリーターの増加などが問題になっている中で、望ましい勤労観、職業観を育てようと企画されたものです。

すでに東部中学校では、173人の生徒が職場体験学習を行いました。夏から秋には、他の7中学校の2年生1003人が、地域の事業所などのご協力をいただき、働く喜びを体験します。

生徒は、さまざまな人々とのふれあいの中から感動を体験し、たくましく成長していくことでしょう。今回のプロジェクトは、商工会や工業団地協同組合、JA流山市、幼稚園協会など多くの機関や団体、事業所などのご協力をいただき、地域との連携の中で進められています。子どもたちは地域の中で育ち、生きていくのも。中学生の職場体験学習にご協力ください。

《敬称略》  
【小学校】▽男女総合①長崎②八木北③南流山▽男子総合①八木北②南流山③東深井▽女子総合①長崎②南流山③八木北▽最優秀選手▽櫻井拓人(東)、新井梨乃(南流山)

【中学校】▽男女総合①八木②南部③北部▽男子総合①八木②南部③北部▽女子総合①北部②八木③南部▽最優秀選手▽梨本真輝(南部)、有田理乃(北部)▽大会新記録①1年男子1500m②梨本真輝(南部)4分40秒77、新井直幸(北部)4分43秒21①1年男子走り幅跳び①齊藤雄也(南流山)5m31

活躍する自主パトロール隊

松ヶ丘や田島自治会も発足

6月15日、松ヶ丘自治会(今井宏会長)で自主防犯パトロール隊が発足しました。また、6月25日には、向小金の田島自治会館で、加藤山警察署長らも出席して同自治会(行川正人会長)の自主防犯パトロール隊の発足式



が行われました。写真。

自治会単位では43自治会が自主防犯パトロール隊が組織化され、全自治会の4分の1に発足、パトロール隊員は3308人になりました。発足式の席上、井崎市長は「買い物や散歩を子どもたちの登下校の時間帯に合わせるなど、息の長い活動を無理なく続けていきましょう」と呼び掛けました。

私たちの教室は街の中  
キャリア教育実践プロジェクト



事業所の協力で学ぶ東部中の生徒

児童労働の実態学ぶ  
古着で学校をつくる運動から

6月17日、文化会館で児童労働についての講演会が行われ、乳児連れの父母ら約30人が、パキスタンでの学校づくりなどを学びました。写真。6月12日がILO

(国際労働機関)の定める児童労働反対世界デーであったことから、流山わらしこ保育園が開催しました。講師は古着を贈って学校を建てる運動を続けているJFSA(日本ファイ

バーリサイクル連帯協議会)事務局長の西村光夫さんとパキスタンのカラチにあるアルカ



イルアカデミーの校長ムハマッド・ムザヒルさんら。貧困から幼い子が労働力にされがちな中で、講師は、現地の写真を見せながら「教育は時間がかかるものだが、世の中が変わるのはそれぞれ一人ずつの教育の成果」と自立のために教育が大切であることを訴えました。